

市民生活

や、研究チームを作る必要性があるのではないか。
答 特別支援教育コーディネ

ーターとの連携を強化して対応していきたい。

ます。

ふじみ野市の農業振興

問 野沢 ふじみ野市の農業は従事者が減少し高齢化も進んでいる。しかも都市化の課題として畑から発生する「埃」は農家・市民共に困っている。解決してほしい。
答 「埃」対策として小麦の種を農家に配布し、埃の軽減に取り組んでいます。今年度は昨年より量を増やし配布しました。

問 動物と共生の社会を
伊藤 多くの犬猫が殺処分されている。猫の苦情も多く、飼育のガイドラインを策定し共存できる環境整備が必要では。
答 有効な方法と考えます。先進市を参考にしながら検討します。

応には活用できません。

消費者が主役となる地方行政の課題は

問 松尾 平成二十年四月にふじみ野市内で暴力団同士の抗争で死者が出て以来、県警も反社会的勢力の行動に注意をはらっている。上福岡駅東口にパトカーが常駐していることを把握しているのか。
答 県警からは情報はいただいていませんが、市長としては、市民の不安に対応し安心安全なまちづくりに関心をもって取り組みます。

消費者が主役となる地方行政の課題は

問 小川 被害者救済に、優秀な相談員の確保は。
答 補助金を活用して、待遇改善を考えています。
問 消費者団体育成の課題は。
答 ヒアリングを実施し、何が必要とされるか調査します。
問 お金の教育の必要性は。
答 発達段階に応じた金銭教育を、今後も工夫して実施し

福祉・医療



問 経費は三〇〇万円の削減とCO2は八千四百キログラム減になります。
問 ビンの資源回収も網等で言えば、更に削減可能となる
答 ビンの収集形態が両地域に違いがあるので、検討を進めています。

若者サポートステーションの必要性

問 飯沼 「若者サポート

問 若者サポートステーションの必要性
伊藤 多くの若い女性

が亡くなっている子宮頸がんの予防に有効なワクチン接種と、乳幼児に重い後遺症や死亡にも至る細菌性髄膜炎の予

防ワクチンの接種が可能となったが、高額のため推進が遅れてきた。国の補正予算で公費助成が決定した。予防接種法により自己負担が発生するが無料とはならないのか。
答 無料と考えています。要綱を整理し実施します。

妊婦健診時にヒトT細胞白血病ウイルス型抗体検査の実施を

問 伊藤 成人T細胞白血病や脊髄症の原因となるウイルスは主に母親から子どもへ母乳を介して感染する。予防方法が無いため感染防止が重要となる。抗体検査の実施と授乳指導や相談体制の充実を。
答 抗体検査は平成二十三年度から実施します。相談体制も含め母子健康手帳交付時に資料を添付し、市のホームページでも周知・啓発します。

中学まで医療費無料を窓口払い無しで

問 足立 こども医療費無料化は、旧上福岡市が三歳まで拡大を先行し、旧大井町などが後に続いた。中学生までの医療費無料化を平成二十三年度四月に窓口払い無しの方



式でスタートするには、市長の英断が必要。
答 平成二十三年度実施に努力しています。窓口払い無しでやりたい思いはあります。

こども医療費無料化の推進を

問 田村 こども医療費無料化が二市一町の中において遅れているが対応は。
答 子育て支援の重要な施策、段階的に実施を考えていましたが財政状況を見極めながら、平成二十三年度中に中学三年生まで通院についても拡大を考えています。

問 休日急患診療の時間的すき間を埋める対策は。
答 東人間医師会の協力で実施しています。午後四時から八時までの時間対策には市内の第二次輪番制病院の上福岡総合病院、上福岡双愛病院での体制をとっています。

上野台団地の高齢者福祉施設の誘致

問 山口 団地建て替えに伴い、URの民間売却予定地に高齢者施設などを誘致してはどうか。
答 URから売却予定地に分譲住宅と高齢者施設の誘致の考えが示されました。市は将来的に必要性が高い広域型特養や夜間対応型介護事業所など高齢者と近隣住民の交流施設の設置を要望しています。

白線を引き、視覚障がい者の安全を

問 山口 上福岡三丁目の香取幼稚園前の道路に白線を引いて、視覚障がい者や高齢者の安全対策を講じてはどうか。

答 視覚障がい者の方が安心して歩いていただくには路側線でも有効ですので設置を考えます。

視覚障がい者の社会参加推進を

問 岸川 声かけ運動推進のため、障がい者の立場に立った町内単位でのアイマスク体験やガイドヘルパーの育成、また関係機関が連携して運動会や消防訓練など地域で社会参加できる施策の検討を。
答 関係課と連携し、アイマスタク体験会開催に向け努力します。ガイドヘルパーの育成は、登録事業所を対象に研修会を開催します。運動会や消防訓練などの参加については、関係機関と調整し楽しくスポーツ等ができる環境の整備を図ると共に、地域で社会生活を営めるよう市民団体と行政全体できめ細やかな連携を図ります。

問 早期・夜間も手話通訳者の派遣を
足立 手話通訳の専門性の維持と、朝・夕も聴覚障がい者の要求に対応できるように、専任手話通訳者を正規職員化し、夜間の医療要請についても手話通訳を派遣できる体制を。
答 警備室にファクスを設置し、夜間も手話通訳を派遣できるように調整中です。

問 鈴木 社会保障として国保の役割、現状の問題点、



手話での窓口対応